

Hinemos Webクライアント ver2.0
ユーザマニュアル
第1.1版

目次

1 HinemosWeb クライアントの概要	4
1.1 特徴	4
1.2 システム概要	4
1.3 前提条件	5
1.4 動作環境	5
2 統合画面機能	6
2.1 機能概要	6
2.2 HinemosWeb サーバの起動	6
2.3 HinemosWeb クライアントの起動	6
2.4 ログイン	6
2.5 ログアウト	6
2.6 ヘルプ	6
2.7 画面レイアウト(パースペクティブ)の選択	7
3 リポジトリ機能	8
3.1 機能概要	8
3.2 画面構成	8
3.2.1 初期画面構成	8
3.2.2 リポジトリ[ノード]ビュー	9
3.2.3 リポジトリ[プロパティ]ビュー	10
3.2.4 リポジトリ[割当てスコープ]ビュー	11
3.2.5 リポジトリ[スコープ]ビュー	11
3.2.6 リポジトリ[エージェント]ビュー	12
3.3 ノード情報一覧のフィルタリング	13
3.4 プロパティ情報の確認	13
4 監視管理機能	14
4.1 機能概要	14
4.1.1 初期画面構成	14
4.1.2 監視[スコープ]ビュー	15
4.1.3 監視[ステータス]ビュー	15
4.1.4 監視[イベント]ビュー	16
4.2 機能利用の前提条件	17
4.3 監視[スコープ]ビューでの監視結果確認	18
4.4 監視[ステータス]ビューでの監視結果確認	19
4.4.1 ステータス通知結果のフィルタ処理	19
4.4.2 ステータス通知結果のフィルタ処理解除	21
4.4.3 監視[ステータス]ビューに表示される日付項目	21
4.5 監視[イベント]ビューでの監視結果確認	22
4.5.1 イベント通知結果の確認処理	22
4.5.2 イベント通知結果のフィルタ処理	23
4.5.3 イベント通知結果の詳細内容確認	24
4.5.4 イベント監視の日付項目	26

4.5.5	INTERNAL イベント.....	26
4.5.6	監視画面更新周期・履歴の表示制限.....	26
5	ジョブ管理機能.....	27
5.1	機能概要.....	27
5.1.1	ジョブの構成.....	27
5.1.2	終了状態と終了値.....	27
5.2	画面構成.....	28
5.2.1	初期画面構成.....	28
5.2.2	ジョブ[一覧]ビュー.....	28
5.2.3	ジョブ[スケジュール]ビュー.....	29
5.2.4	ジョブ[履歴]ビュー.....	30
5.2.5	ジョブ[ジョブ詳細]ビュー.....	30
5.2.6	ジョブ[ノード詳細]ビュー.....	31
5.2.7	ジョブ[ファイル転送]ビュー.....	31
5.3	ジョブの実行・開始・停止.....	32
5.3.1	ジョブの実行.....	32
5.3.2	ジョブの停止.....	32
5.3.3	ジョブネットの中断.....	33
5.3.4	ジョブネットの再開.....	33
5.4	ジョブ実行履歴の一覧表示.....	34
5.4.1	監視画面更新周期・履歴の表示制限.....	35
6	制限事項.....	36
7	変更履歴.....	38

1 HinemosWeb クライアントの概要

1.1 特徴

HinemosWebクライアントはHinemosクライアントと比較して以下の特徴があります。

- 専用のアプリケーションをクライアント用PCにインストールする必要がなく、ブラウザが利用できる端末であれば、OSに依存せずHinemosマネージャにアクセスが可能
- 同一ネットワーク上にない端末からでも、HTTP/HTTPS通信を利用することで、インターネット・イントラネット経由でHinemosマネージャへアクセスが可能
- HinemosWebクライアント用のサーバへ1回インストール・セットアップするだけで、様々な端末からのアクセスが可能

1.2 システム概要

HinemosWebクライアントはHinemosクライアントの以下機能について、Webからの参照機能を提供します。

- ① 統合画面
 - ログイン
 - ホーム画面
 - ログアウト
 - パースペクティブ表示
 - ヘルプ
- ② リポジットリ
 - リポジットリ[ノード]
 - リポジットリ[エージェント]
 - リポジットリ[割当てスコープ]
 - リポジットリ[スコープ]
 - リポジットリ[プロパティ]
- ③ 監視
 - 監視[スコープ]
 - 監視[ステータス]
 - 監視[イベント]
- ④ ジョブ
 - ジョブ[一覧]
 - ジョブ[スケジュール]
 - ジョブ[履歴]
 - ジョブ[ジョブ詳細]
 - ジョブ[ノード詳細]
 - ジョブ[ファイル転送]

1.3 前提条件

HinemosWebクライアント使用时には、Hinemosマネージャ環境が準備されている必要があります。HinemosWebクライアントでは一部の実行機能を除き参照機能のみを提供しますので、各機能の登録、変更、削除などの処理はHinemosクライアントから実施します。

1.4 動作環境

HinemosWeb クライアントの動作環境は以下となります。

表 1-1 HinemosWeb クライアントの動作環境

Hinemos	Hinemos Ver.4.0
ブラウザ	InternetExplorer (バージョン 8)
	Mozilla Firefox (18.x.x)
OS	Red Hat Enterprise Linux 6
JavaVM	Oracle Java SE Development Kit 6
アプリケーションサーバ	JBoss Application Sever 5.1.0.GA (※)
	Apache Tomcat 6.0/7.0

※ HinemosManager サーバ内の JBoss Application Sever にデプロイすることはできません。

2 統合画面機能

2.1 機能概要

統合画面機能では、以下の機能を提供します。

- ・ 各種の運用管理画面を統合的に表示する
- ・ 各機能の画面を統合画面で操作する

2.2 HinemosWeb サーバの起動

インストールマニュアルの内容に従ってHinemosWebサーバを起動します。

2.3 HinemosWeb クライアントの起動

ブラウザを起動し、HinemosWebサーバへアクセスします。

インストール時のデフォルト設定の場合、以下のURLでアクセスすることができます。

`http://(サーバホスト名)[:ポート番号]/hinemos/`

サービスポート番号、及び、URLの詳細については、インストール時の設定をご確認の上、インストールマニュアルをご参照ください。

2.4 ログイン

以下の手順で、指定のユーザでHinemosにログインすることができます。

1. ログイン画面を表示します。
2. ユーザID、パスワード、接続先URLを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

2.5 ログアウト

以下の手順で、ログアウトします。

1. メニュー・バーの【接続】→【ログアウト】を選択します。

ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

2.6 ヘルプ

以下の手順で、ヘルプ画面を表示します。

1. メニュー・バーの【ヘルプ】→【HinemosWebクライアントについて】を選択します。ヘルプ画面が表示されます。HinemosWebクライアントのバージョンを確認できます。

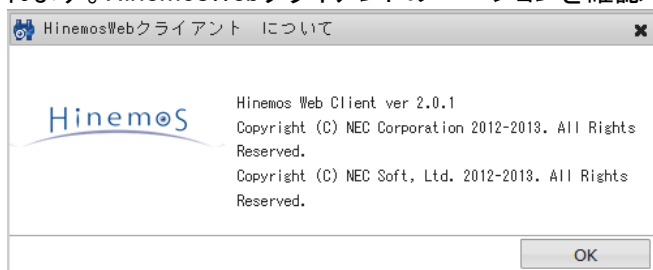


図 2-1 ヘルプダイアログ

2.7 画面レイアウト(パースペクティブ)の選択

画面レイアウトとして、以下の3つが用意されています。

- リポジットリ
- 監視
- ジョブ管理

画面レイアウトの選択は、以下の手順で行ってください。

1. メニュー・バーの【パースペクティブ】→【パースペクティブ表示】を選択します。

パースペクティブの選択ダイアログが表示されます。パースペクティブは、本ソフトウェアにおいては画面構成のセットのことを指します。

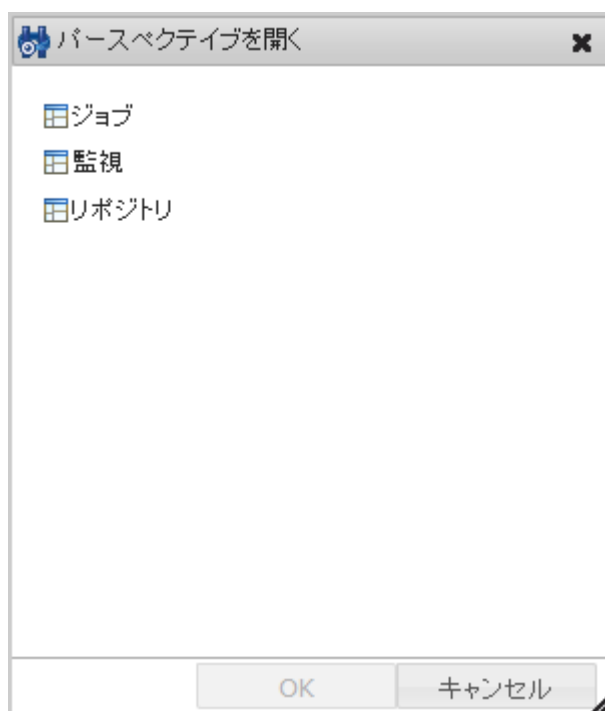


図 2-2 パースペクティブの選択ダイアログ

2. 表示したい画面レイアウト(パースペクティブ)を選択します。
3. 『OK』ボタンをクリックします。

3 リポジトリ機能

3.1 機能概要

リポジトリ機能は、Hinemosで運用管理する管理対象の情報を表示する機能を提供します。

3.2 画面構成

3.2.1 初期画面構成

The screenshot displays the Hinemos Reporting Function initial screen. The interface is divided into several panes:

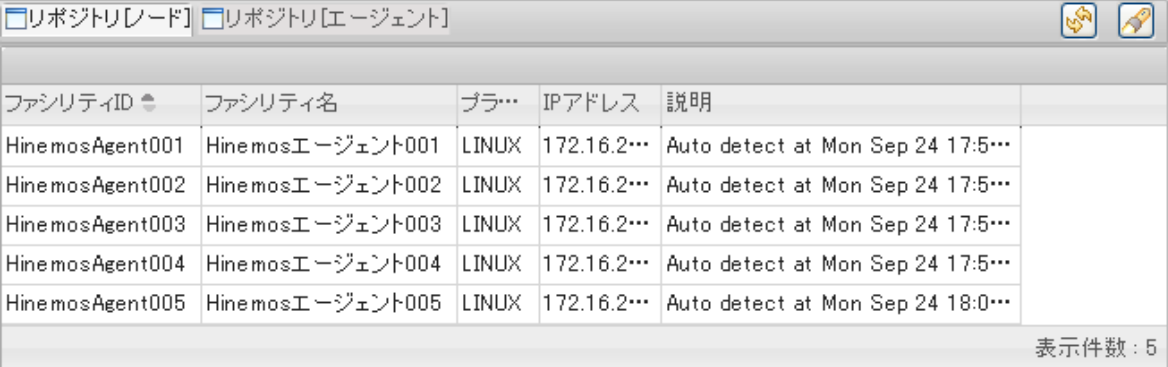
- Top-Left Pane (Agents):** A table listing agents with columns: ファシリティID (Facility ID), ファシリティ名 (Facility Name), プラ... (Platform), IPアドレス (IP Address), and 説明 (Description). The table contains 5 rows of agent information.
- Bottom-Left Pane (Scopes):** A tree view showing scopes under 'スコープ' (Scope). It includes 'Hinemos内部スコープ' (Hinemos Internal Scope) with sub-items '登録ノードすべて (REGISTERED)' and '未登録ノード (UNREGISTERED)'. Below the tree is a table of scope details with columns: ファシリティID (Facility ID), ファシリティ名 (Facility Name), and 説明 (Description). The table contains 3 rows of scope information.
- Right Pane (Properties):** A list of properties for the selected agent, such as 'ファシリティID', 'ファシリティ名', '説明', '管理対象' (checked), 'サーバ基本情報' (expanded), 'ハードウェア', 'ネットワーク', 'OS', 'サービス', 'SNMP', 'WBEM', 'IPMI', 'WinRM', 'デバイス', 'CPU情報', 'メモリ情報', 'NIC情報', 'ディスク情報', 'ファイルシステム情報', '汎用デバイス情報', 'サーバ仮想化', 'ネットワーク仮想化', 'ノード変数', '保守', '作成日時', '新規作成ユーザ', '最終変更日時', '最終変更ユーザ', and '備考'.

The status bar at the bottom shows: Hinemosログインユーザ : hinemos 接続先URL : http://172.16.250.181:8080/HinemosWS/

図 3-1 リポジトリ機能初期画面構成

3.2.2 リポジトリ[ノード]ビュー

登録されているノードの一覧を表示するビューです。





The screenshot shows a window titled 'リポジトリ[ノード]' (Repository [Nodes]) with a sub-tab 'リポジトリ[エージェント]' (Repository [Agents]). The window contains a table with the following columns: 'ファシリティID' (Facility ID), 'ファシリティ名' (Facility Name), 'プラ...' (Platform), 'IPアドレス' (IP Address), and '説明' (Description). The table lists five agents, all running on LINUX with IP addresses starting with 172.16.2. The descriptions indicate they were auto-detected on September 24, 2017. At the bottom right of the window, it says '表示件数: 5' (Number of items displayed: 5).

ファシリティID	ファシリティ名	プラ...	IPアドレス	説明
HinemosAgent001	Hinemosエージェント001	LINUX	172.16.2...	Auto detect at Mon Sep 24 17:5...
HinemosAgent002	Hinemosエージェント002	LINUX	172.16.2...	Auto detect at Mon Sep 24 17:5...
HinemosAgent003	Hinemosエージェント003	LINUX	172.16.2...	Auto detect at Mon Sep 24 17:5...
HinemosAgent004	Hinemosエージェント004	LINUX	172.16.2...	Auto detect at Mon Sep 24 17:5...
HinemosAgent005	Hinemosエージェント005	LINUX	172.16.2...	Auto detect at Mon Sep 24 18:0...

図 3-2 リポジトリ[ノード]ビュー

表 3-1 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	フィルタ	ノード情報一覧のフィルタ設定を行います。
	更新	リポジトリ[ノード]ビューの内容を最新のものに更新します。


3.2.3 リポジトリ[プロパティ]ビュー

ノードの登録内容を表示するビューです。リポジトリ[ノード]ビューで選択されているノードの情報が表示されます。

リポジトリ[プロパティ]	
名前	値
ファシリティID	
ファシリティ名	
説明	
管理対象	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> サーバ基本情報	
<input type="checkbox"/> ハードウェア	
<input type="checkbox"/> ネットワーク	
<input type="checkbox"/> OS	
<input type="checkbox"/> サービス	
<input type="checkbox"/> SNMP	
<input type="checkbox"/> WBEM	
<input type="checkbox"/> IPMI	
<input type="checkbox"/> WinRM	
<input type="checkbox"/> デバイス	
<input type="checkbox"/> CPU情報	
<input type="checkbox"/> メモリ情報	
<input type="checkbox"/> NIC情報	
<input type="checkbox"/> ディスク情報	
<input type="checkbox"/> ファイルシステム情報	
<input type="checkbox"/> 汎用デバイス情報	
<input type="checkbox"/> サーバ仮想化	
<input type="checkbox"/> ネットワーク仮想化	
<input type="checkbox"/> ノード変数	
<input type="checkbox"/> 保守	
作成日時	2012/09/24 18:02:47
新規作成ユーザ	
最終変更日時	2012/09/24 18:02:47
最終変更ユーザ	
備考	

図 3-3 リポジトリ[プロパティ]ビュー

表 3-2 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	リポジトリ[プロパティ]ビューの内容を最新のものに更新します。

3.2.4 リポジトリ[割当てスコープ]ビュー

ノードがどのスコープに割当てられているのかを一覧表示するビューです。リポジトリ[ノード]ビューで選択されているノードの割当て状況が表示されます。



図 3-4 リポジトリ[割当てスコープ]ビュー

表 3-3 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	リポジトリ[割当てスコープ]ビューの内容を最新のものに更新します。

3.2.5 リポジトリ[スコープ]ビュー

登録されているスコープの情報を表示するビューです。

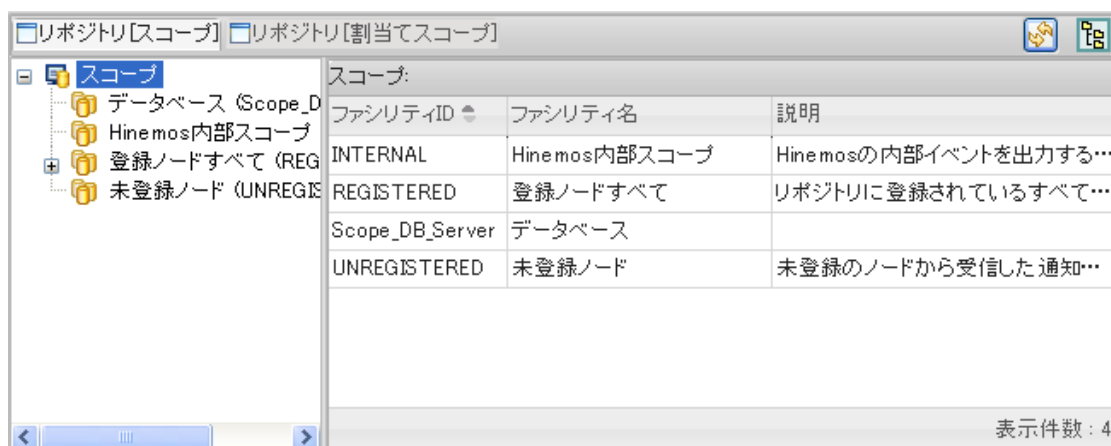


図 3-5 リポジトリ[スコープ]ビュー

表 3-4 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	リポジトリ[スコープ]ビューの内容を最新のものに更新します。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示/非表示を選択できます。

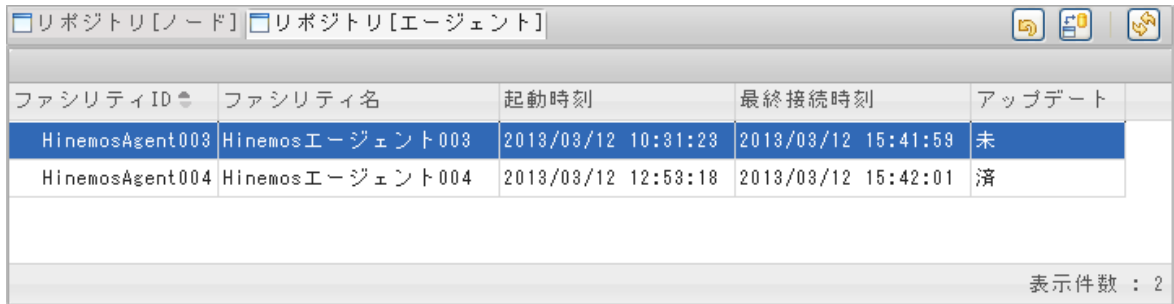
なお、Hinemos内部スコープ(Internal)、登録ノードすべて(REGISTERED)、未登録ノード (UNREGISTERED)の3つのスコープはHinemosにあらかじめ組み込まれています。各スコープは以下の用途に利用されます。

表 3-5 組み込みスコープ一覧

スコープ	説明
Hinemos内部スコープ(Internal)	Hinemos内部で発生するイベント(内部エラーなど)を格納するスコープ
登録ノードすべて(REGISTERED)	登録されているノードすべての情報を確認するためのスコープ
未登録ノード(UNREGISTERED)	Hinemosに登録されていないノードからシステムログやSNMPTRAPを受信する際に利用するスコープ

3.2.6 リポジトリ[エージェント]ビュー

Hinemosマネージャに接続しているHinemosエージェントの情報を表示するビューです。このビューでは、エージェント一覧の確認、エージェントの再起動、エージェントのアップデートといった操作を行う事ができます。






ファシリティID	ファシリティ名	起動時刻	最終接続時刻	アップデート
HinemosAgent003	Hinemosエージェント003	2013/03/12 10:31:23	2013/03/12 15:41:59	未
HinemosAgent004	Hinemosエージェント004	2013/03/12 12:53:18	2013/03/12 15:42:01	済

表示件数 : 2

図 3-6 リポジトリ[エージェント]ビュー

表 3-6 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	エージェント再起動	Hinemosエージェントを再起動します。
	モジュールアップデート	Hinemosエージェントのモジュールをアップデートします。
	更新	リポジトリ[エージェント]ビューの内容を最新のものに更新します。

3.3 ノード情報一覧のフィルタリング

フィルタ処理を行うことで、表示するノード情報を指定した属性値と一致する属性値を持つノード情報のみに絞り込むことができます。

1. リポジトリ[ノード]ビューの『フィルタ』ボタンをクリックします。リポジトリ[ノードのフィルタ処理]ダイアログが開きます。
2. フィルタの絞り込み条件を入力します。属性の一覧が表示されているプロパティテーブル上で、絞り込み条件とするレコードをクリックし属性値を入力します。絞り込み条件に加えない属性値は、空欄にしてください。
3. リポジトリ[ノードのフィルタ処理]ダイアログの『OK』ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。フィルタの設定を取り止める場合は、『キャンセル』ボタンをクリックします。

名前	値
ファシリティID	
ファシリティ名	
説明	
<input type="checkbox"/> ネットワーク	
<input type="checkbox"/> OS	
<input type="checkbox"/> 保守	

図 3-7 リポジトリ[ノードのフィルタ処理]ダイアログ

3.4 プロパティ情報の確認

リポジトリ[ノード]ビューのノード一覧テーブルから、プロパティ情報を確認したいノードを選択します。選択されたノードのプロパティ情報とノードの割当て状況が、それぞれ、リポジトリ[プロパティ]ビューとリポジトリ[割当てスコープ]ビューに表示されます。ノード情報を最新の状態に更新するには、各ビューの『更新』ボタンをクリックしてください。

4 監視管理機能

4.1 機能概要

システムやアプリケーションのログや監視対象ノードのステータスを監視する機能を提供します。監視ログ情報をスコープ別に一覧表示することができます。また、状態をステータスとして一覧表示することができます。

主な機能として、以下の機能を提供します。

- ・ ログ情報・ステータス情報の一覧表示

スコープごとに、ログ情報・ステータス情報を一覧表示することができます。スコープに属する監視ログ情報のうちで最も危険度が高い重要度を、スコープ自体の重要度として表示します。一覧表示されている監視ログ情報は重要度ごとに集計され、その数を表示します。監視ログ情報をその属性項目を条件として絞込んで表示することができます。監視ログは、オペレータがそのログを確認したか否かのフラグを持っています。“確認”作業を行うことで、確認済みの監視ログ情報を一覧から非表示にすることができます。

- ・ ドリルダウン表示

スコープの階層構造に合わせてドリルダウン的に下位のログ情報を参照することができます。画面内では、スコープが階層構造で表示されます。ツリー内のスコープを選択することで、スコープの階層構造に合わせてドリルダウン的に詳細情報を表示していくことができ、まず全体を確認してから詳細状況へといった見方を可能とします。

4.1.1 初期画面構成

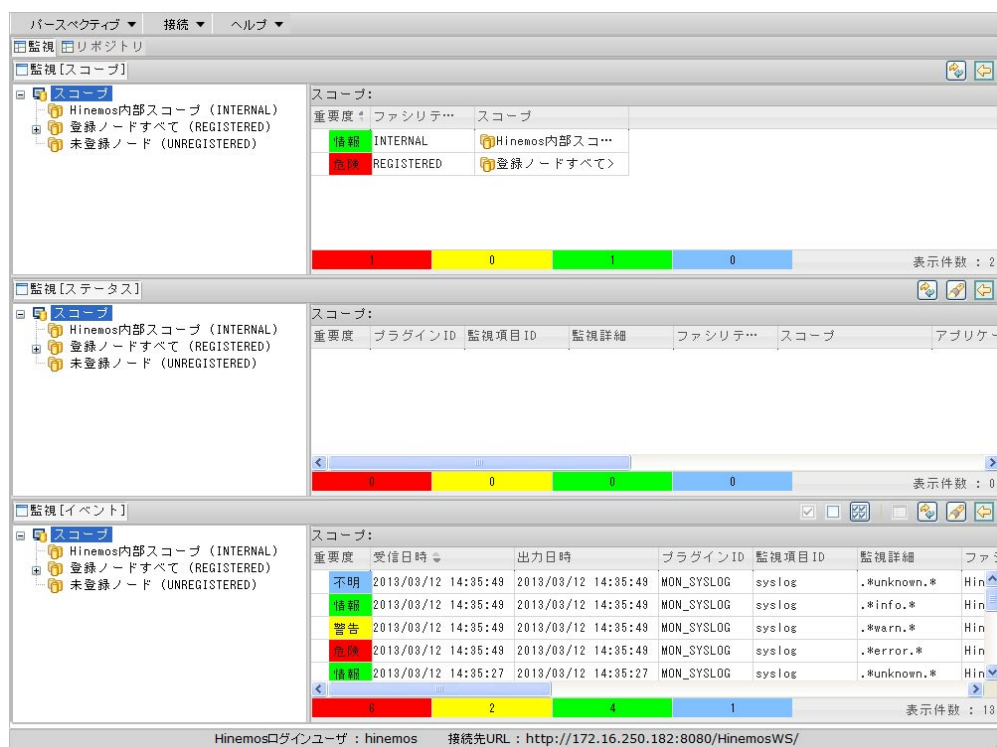


図 4-1 初期画面構成

4.1.2 監視[スコープ]ビュー

スコープの状態を表示するビューです。スコープごとのログ・ステータス情報を集約したものを出力します。



図 4-2 監視[スコープ]ビュー

表 4-1 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	テーブルの内容を最新の情報に更新します。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示／非表示を選択できます。

ビューの下部には、ビューに表示されている情報を重要度別にカウントした値が重要度の色別に表示されます。また、ビューの右下部[表示件数]には、ビュー内に表示されている情報の総数が表示されます。

4.1.3 監視[ステータス]ビュー

現在のスコープの状態を表示するビューです。



図 4-3 監視[ステータス]ビュー

表 4-2 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	テーブルの内容を最新の情報に更新します。
	フィルタ	ステータス一覧のフィルタ処理を行います。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示／非表示を選択できます。

ビューの下部には、ビューに表示されている情報を重要度別にカウントした値が重要度の色別に表示されます。また、ビューの右下部[表示件数]には、ビュー内に表示されている情報の総数が表示されます。

4.1.4 監視[イベント]ビュー

収集されているログ情報を表示するビューです。



図 4-4 監視[イベント]ビュー

表 4-3 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	確認	イベントの確認処理を行います。この処理を実施したユーザが確認ユーザとして保存されます。
	未確認に変更	“確認”状態になっているイベントを“未確認”状態に変更します。この処理を実施したユーザが、確認ユーザとして保存されます。
	一括確認	条件に当てはまるイベントを一括で確認処理します。
	詳細	イベントの詳細な内容を表示します。
	更新	テーブルの内容を最新の情報に更新します。
	フィルタ	イベント一覧のフィルタ処理を行います。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示／非表示を選択できます。

ビューの下部には、ビューに表示されている情報を重要度別にカウントした値が重要度の色別に表示されます。また、ビューの右下部[表示件数]には、ビュー内に表示されている情報の総数が表示されます。

※監視[イベント]ビューに表示されるイベント情報の総数は、Hinemosのデータベースに格納されている イベント情報の総数ではなく、監視[イベント]ビューに表示されているイベント情報の総数です。

4.2 機能利用の前提条件

監視機能で監視設定を行う場合、前提条件として下記の設定が実施されている必要があります。

下記設定はHinemosクライアントから設定します。

- 監視対象とするノードがリポジトリ機能にて登録され、いずれかのスコープに割当てられていること
- 監視結果の通知方法の設定が、共通機能の通知設定にて登録されていること
- 監視の有効期間をカレンダー設定をもとに設定する場合は、共通機能のカレンダー設定にてカレンダーが登録されていること
- イベント通知を契機としたジョブ実行を実行したい場合は、実行対象のジョブが登録されていること

4.3 監視[スコープ]ビューでの監視結果確認

監視[スコープ]ビューには、スコープごとのステータス・イベント情報を集計したものが出力されます。左側のツリーペインで選択したスコープの状態が表示されます。右側のリストには、選択されているスコープ以下(自分自身も含む)の スコープに出力されたステータス・イベント情報の中で、最も重要度の高いものが出力されます。

出力されるステータス・イベント情報は、以下のルールに従います。

- ステータス・イベント出力の中でもっとも重要度の高いもの
- 同じ重要度のステータス・イベント出力が複数ある場合は、最後に出力されたもの

重要度は、以下の4段階となります。

- 危険 … 赤色で表示
- 警告 … 黄色で表示
- 情報 … 緑色で表示
- 不明 … 水色で表示

重要度の優先度は下記となります。

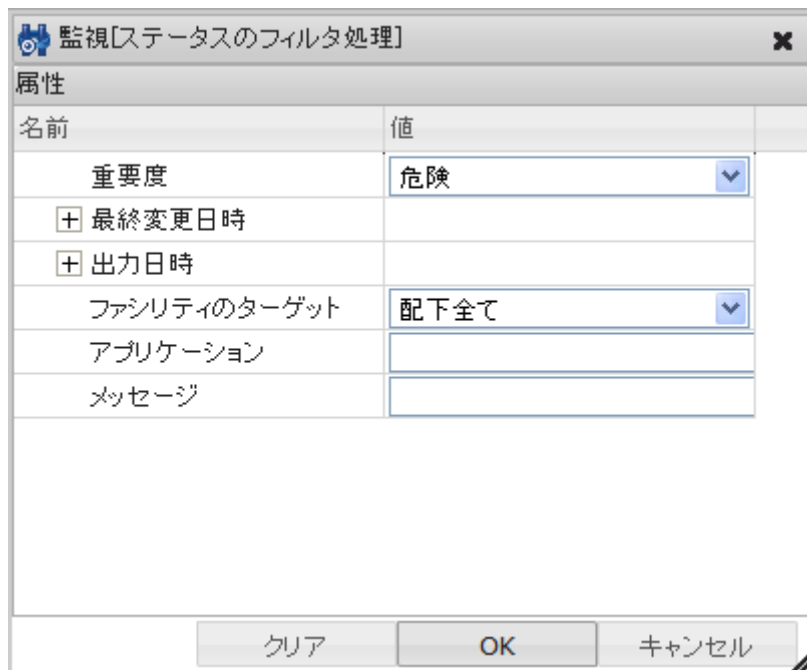
危険 > 不明 > 警告 > 情報

4.4 監視[ステータス]ビューでの監視結果確認

各スコープのステータス情報として、監視機能からの通知情報が一覧で表示されます。ここに表示される情報は、監視[イベント]ビューに表示される情報とは異なり、常に最新の状態のみ表示されます。ステータス通知は、プラグイン ID と監視項目 ID で識別されます。プラグイン ID と監視項目 ID の両方が一致する通知を受けると前の状態を更新します。

4.4.1 ステータス通知結果のフィルタ処理

1. 監視[ステータス]ビューの『フィルタ』ボタンをクリックします。監視[ステータスのフィルタ処理]ダイアログが開きます。



監視[ステータスのフィルタ処理]	
属性	
名前	値
重要度	危険
+ 最終変更日時	
+ 出力日時	
ファシリティのターゲット	配下全て
アプリケーション	
メッセージ	

クリア OK キャンセル

図 4-5 監視[ステータスのフィルタ処理]ダイアログ

2. 以下の項目から、絞り込む条件を設定します。条件に含めない項目については、空欄にしてください（フィルタリング設定を初期条件に戻したい場合は、『クリア』ボタンをクリックしてください）。

- ・ 重要度：
通知の重要度を絞り込み条件とします。コンボボックスから選択します。
- ・ 最終変更日時：
通知の最終変更日時を絞り込み条件とします。入力欄横のボタンをクリックすると、日時ダイアログが開きますので、日付を選択してください。時刻はコンボボックスから選択します。



図 4-6 日時ダイアログ

- ・ 出力日時：
通知の出力日時を絞り込み条件とします。入力欄横のボタンをクリックすると、日時ダイアログが開きますので、日付を選択してください。時刻はコンボボックスから選択します。
- ・ ファシリティのターゲット：
表示対象のファシリティ(スコープとノード)を以下から選択することができます。
 - ・ 配下全て … 選択されているスコープを含む配下全てのノードを表示対象とします。
 - ・ 直下のみ … 選択されているスコープを含み、そのスコープに含まれるスコープとノードのみを表示対象とします。
- ・ アプリケーション：
通知の発生元アプリケーションを絞り込み条件とします。入力欄にテキストで入力してください。ここに入力された文字列を含むものが出力対象となります。
- ・ メッセージ：
通知のメッセージ内容を絞り込み条件とします。入力欄にテキストで入力してください。ここに入力された文字列を含むものが出力対象となります。

3. 『OK』ボタンをクリックします。監視[ステータスのフィルタ処理]ダイアログが閉じられ、設定した条件を満たす通知だけが、監視[ステータス]ビューに表示されるようになります。

スコープが表示されていた欄の表示が、“フィルタ済み一覧”となり、『フィルタ』ボタンが押し込まれたアイコンに変わります。

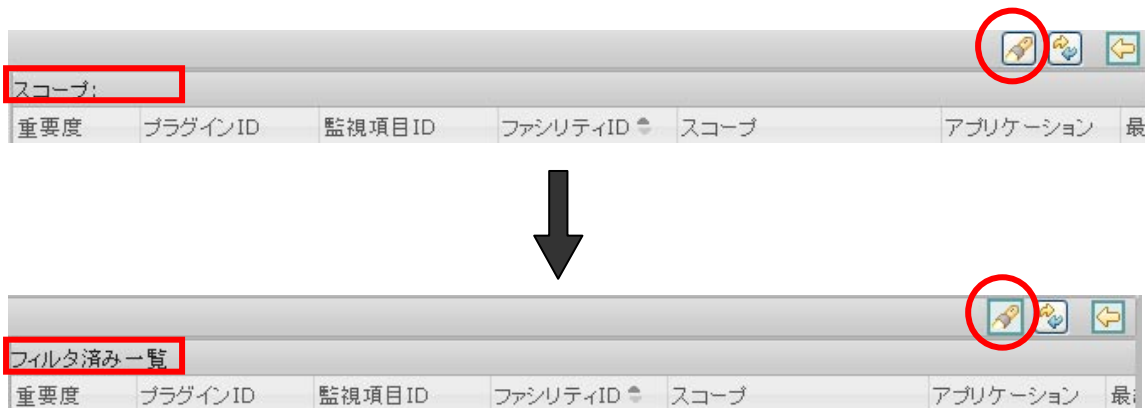


図 4-7 フィルタ済み一覧

4.4.2 ステータス通知結果のフィルタ処理解除

監視[ステータス]ビューの『フィルタ』ボタン(押し込まれている状態)をクリックします。

4.4.3 監視[ステータス]ビューに表示される日付項目

監視[ステータス]ビューに表示される日付項目の説明を以下の表に示します。

表 4-4 監視[ステータス]ビューの日付項目

項目	対象OS時刻	説明
最終変更日時	Hinemos マネージャ サーバ	最後に監視を実行した時刻を表示します。
出力日時	Hinemos マネージャ サーバ	最初に監視を実行した時刻を表示します。一度ステータス情報を削除した場合は、削除後に最初に監視を実行した時刻を表示します。重要度が変更されて通知が行われた場合は、変更された監視を実行した時刻を表示します。

4.5 監視[イベント]ビューでの監視結果確認

4.5.1 イベント通知結果の確認処理

監視[イベント]ビューのイベント一覧から確認作業を行う通知を選択し、『確認』ボタンをクリックします。指定された通知の確認フラグが「確認済み」となり、確認処理を実施したユーザが、「確認ユーザ」として保存されます。

確認済みの通知を未確認に戻すには

1. 監視[イベント]ビューのフィルタ処理で、未確認の通知をイベント一覧に表示するように設定します（設定の手順については、『4.5.2

イベント通知結果のフィルタ処理』をご参照ください)。

2. 監視[イベント]ビューのイベント一覧から未確認状態に戻したい通知を選択し、『未確認に変更』ボタンをクリックします。選択した通知の確認フラグが「未確認」となり、この処理を実施したユーザが、「確認ユーザ」として保存されます。

条件に当てはまる通知を一括で確認状態にするには

監視[イベント]ビューの『一括確認』ボタンをクリックすると、監視[一括確認]ダイアログが開きます。絞り込み条件を指定します。設定方法はフィルタ処理と同様の手順です(詳細については、『4.4.1ステータス通知結果のフィルタ処理』をご参照ください)。

一括確認を実行した場合も、指定された通知の確認フラグが「確認済み」となり、確認処理を実施したユーザが、「確認ユーザ」として保存されます。

名前	値
重要度	危険
+ 受信日時	
+ 出力日時	
ファシリティのター...	配下全て
アプリケーション	
メッセージ	
コメント	
コメント更新ユーザ	

図 4-8 監視[一括確認]ダイアログ

4.5.2 イベント通知結果のフィルタ処理

監視[イベント]ビューの『フィルタ』ボタンをクリックすると、監視[イベントのフィルタ処理]ダイアログが開きます。絞り込み条件を指定します。設定方法はステータスのフィルタ処理とほぼ同様ですが、加えて以下の項目を指定することができます。

- ・ 確認:
確認フラグの状態を指定します。コンボボックスから「未」または「済」を指定します。
- ・ 確認ユーザ:
確認処理を実行したユーザを指定します。入力欄にテキストで入力してください。

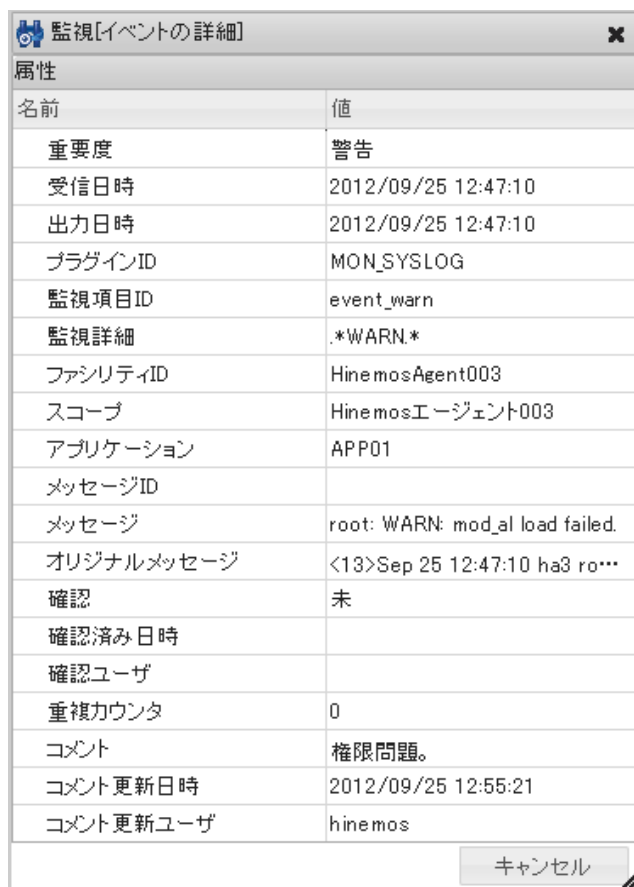
名前	値
重要度	危険
+ 受信日時	
+ 出力日時	
ファシリティのターゲット	配下全て
アプリケーション	
メッセージ	
確認	未
確認ユーザ	
コメント	
コメント更新ユーザ	

図 4-9 監視[イベントのフィルタ処理]ダイアログ

- ・ コメント:
コメントを指定します。入力欄にテキストで入力してください。
- ・ コメント更新ユーザ:
コメント更新ユーザを指定します。入力欄にテキストで入力してください。

4.5.3 イベント通知結果の詳細内容確認

監視[イベント]ビューのイベント一覧から、表示対象のイベントを選択し、ダブルクリックまたは『詳細』ボタンをクリックします。監視[イベントの詳細]ダイアログが開きます。



監視[イベントの詳細]	
属性	
名前	値
重要度	警告
受信日時	2012/09/25 12:47:10
出力日時	2012/09/25 12:47:10
プラグインID	MON_SYSLOG
監視項目ID	event_warn
監視詳細	*WARN*
ファシリティID	HinemosAgent003
スコープ	Hinemosエージェント003
アプリケーション	APP01
メッセージID	
メッセージ	root: WARN: mod_al load failed.
オリジナルメッセージ	<13>Sep 25 12:47:10 ha3 ro...
確認	未
確認済み日時	
確認ユーザ	
重複カウンタ	0
コメント	権限問題。
コメント更新日時	2012/09/25 12:55:21
コメント更新ユーザ	hinemos

キャンセル

図 4-10 監視[イベントの詳細]ダイアログ

オリジナルメッセージの確認

監視[イベントの詳細]ダイアログの「オリジナルメッセージ」欄を選択すると、右端にボタンが表示されます。このボタンをクリックするとオリジナルメッセージダイアログが開き、オリジナルメッセージを確認することができます。



図 4-11 オリジナルメッセージダイアログ

オリジナルメッセージに、以下のURLスキームから始まる文字列を含む場合、文字列をクリックすると別ブラウザが起動され、該当ページ(ファイル)が表示されます。

- ・ http://
- ・ https://
- ・ ftp://
- ・ file://

イベント通知結果へのコメント確認

イベント通知結果毎に、コメントの内容を確認することが可能です。(追記することはできません。)

1. 監視[イベントの詳細]ダイアログの、「コメント」欄を選択すると、右端にボタンが表示されます。このボタンをクリックして、コメントダイアログが開きます。
2. コメントダイアログで『キャンセル』ボタンをクリックし、コメントダイアログを閉じます。

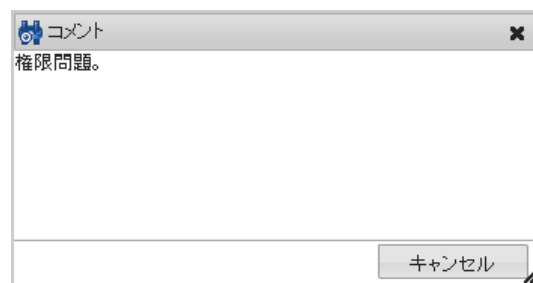


図 4-12 コメント確認ダイアログ

4.5.4 イベント監視の日付項目

監視[イベント]ビューに表示される日付項目の説明を以下の表に示します。

表 4-5 監視[イベント]ビューの日付項目

項目	対象OS時刻	説明
受信日時	Hinemos マネージャサーバ	Hinemos マネージャ側で管理DB (PostgreSQL) に格納した時刻を表示します。
出力日時	Hinemos マネージャサーバ (システムログ監視以外)、監視対象サーバ (システムログ監視の場合)	監視した時刻を表示します。基本的にはHinemos マネージャからポーリングする方式で監視するため、Hinemos マネージャサーバの時刻になります。システムログ監視の場合、送信されてきたシステムログパケット内の ログ出力時刻を使用します。同様に受信型の監視方式としてSNMPTRAP監視がありますが、SNMPTRAPの場合はHinemos マネージャサーバの受信日時を使用します。

4.5.5 INTERNAL イベント

INTERNAL イベントとは Hinemos 内部で発生するイベントです。INTERNAL イベントが発生した場合、デフォルトで監視[イベント]ビューに表示されます。

4.5.6 監視画面更新周期・履歴の表示制限

画面の情報は一定周期でクライアントからマネージャの情報を取得することで定期的に更新されます。

1. 自動更新周期

監視[スコープ]ビュー、監視[ステータス]ビュー、監視[イベント]ビューでは、10分周期で、ビューの内容が更新されます。なお、更新間隔は変更することができません。

2. イベント数の表示制限

監視[イベント]ビューに関して、イベント数が制限されます。表示制限は100件であり、件数を変更することはできません。またイベント件数が表示イベント数を超えた場合でもメッセージは出力されません。

5 ジョブ管理機能

5.1 機能概要

登録されたジョブについて、実行中のジョブの進捗状況や、実行完了したジョブを一覧画面で確認することができます。

主に、以下の機能を提供します。

- GUIによるジョブ管理

登録したジョブの下記のオペレーションを画面操作で実行できます。

- ジョブの実行
- ジョブの開始
- 複数のジョブで構成されたジョブ(ジョブネット)である場合、任意のジョブからの開始
- ジョブネットの中断
- ジョブの停止
- 中断されたジョブの再開

実行中のジョブの進捗状況や、実行完了したジョブは一覧画面で確認することができます。

5.1.1 ジョブの構成

Hinemosでは、ジョブに階層構造を持たせることができます。ジョブの階層は、以下の要素で構成されます。

- ・ ジョブユニット
ジョブ階層の最上位要素です。全てのジョブネットとジョブは、このジョブユニットの要素として設定します。
- ・ ジョブネット
ジョブをひとまとめにして扱うことのできる要素です。ジョブとともにジョブネットもまとめて扱うことができます。
- ・ ジョブ
最小の実行単位です。
- ・ ファイル転送ジョブ
ファイルの転送を実行する特別なジョブです。コマンドを設定する代わりに、ファイル転送用の設定を行います。

5.1.2 終了状態と終了値

ジョブユニット、ジョブネット、ジョブのいずれも、実行の終了状態と終了値を持ちます。終了状態には正常、警告、異常の3つの状態があります。終了値は、終了状態によって決定されます。どの終了状態のときに、どの終了値とするのかはHinemosクライアントから設定することができます。

5.2 画面構成

5.2.1 初期画面構成

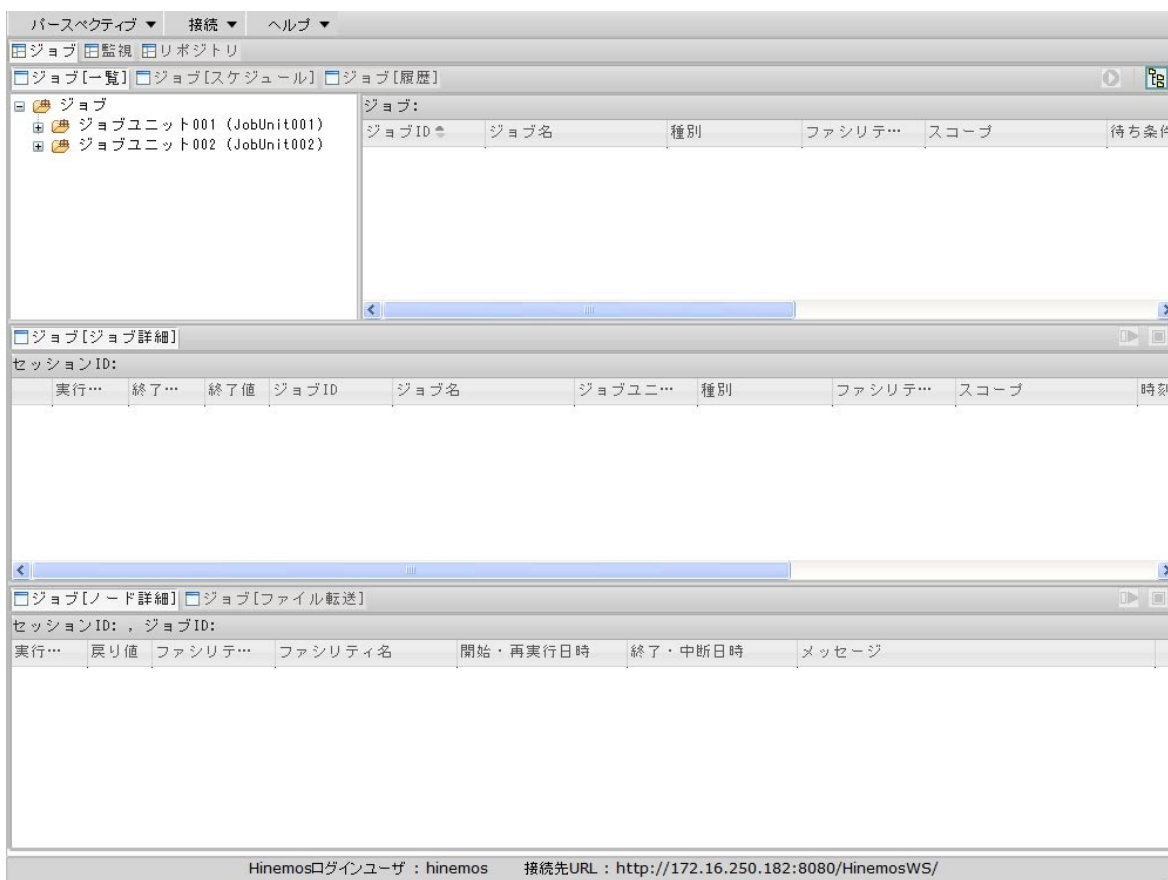


図 5-1 ジョブ管理機能初期画面構成

5.2.2 ジョブ[一覧]ビュー

ジョブ、ファイル転送ジョブ、ジョブネット、ジョブユニットの一覧を表示します。ジョブの手動による実行を行うことができます。



図 5-2 ジョブ[一覧]ビュー

表 5-1 ジョブツリーのアイコン







アイコン	説明
	ジョブユニットを表します。
	ジョブネットを表します。
	ジョブを表します。
	ファイル転送ジョブを表します。

表 5-2 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	実行	ジョブツリーで選択されている要素(ジョブユニット、ジョブネット、ジョブ、ファイル転送ジョブ)を即時実行します。
	ジョブ階層ペインの表示	ジョブツリーの表示/非表示を選択できます。

5.2.3 ジョブ[スケジュール]ビュー


スケジュールの一覧を表示します。



スケジュールID	スケジュール名	ジョブID	ジョブ名	ジョブユニットID	カレンダーID	スケジュール	有効/無効	新規作成ユ...	作成日時
SCHE001	SCHE001	JobUnit001	ジョブユニット001	JobUnit001		01日 00:00	有効	hinemos	2012/09/25 13:14
SCHE002	SCHE002	JobUnit002	ジョブユニット002	JobUnit002		15日 00:00	有効	hinemos	2012/09/25 13:14

図 5-3 ジョブ[スケジュール]ビュー

表 5-3 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	ジョブのスケジュールを更新します。

5.2.4 ジョブ[履歴]ビュー

実行されたジョブ、ジョブネット、ジョブユニットの履歴を表示します。履歴のフィルタ表示、履歴に表示されているジョブの再開、停止を行うことができます。

実行状態	終了…	終了値	セッションID	ジョブID	ジョブ名	ジョブユニ…	種別	ファシリテ…	ス…
■ 終了	■ 正常	0	20130312161453-000	Job001	JobTest	JobUnit001	● ジョブ	HinemosAgent…	
■ 終了	■ 正常	0	20130312161450-000	Job001	JobTest	JobUnit001	● ジョブ	HinemosAgent…	
■ 実行中			20130312161442-000	JobUnit002	ジョブユニット002	JobUnit002	● ジョブユニ…		
■ コマンド停止			20130312161441-000	JobUnit002	ジョブユニット002	JobUnit002	● ジョブユニ…		
■ 終了	■ 異常	-1	20130312161819-000	Job002	FileTransJobTest	JobUnit001	● ファイル転…		
■ 中断			20130312161007-000	JobUnit002	ジョブユニット002	JobUnit002	● ジョブユニ…		
■ 終了	■ 正常	0	20130312160950-000	JobUnit002	ジョブユニット002	JobUnit002	● ジョブユニ…		

図 5-4 ジョブ[履歴]ビュー

表 5-4 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	開始	ジョブを開始します。
	停止	ジョブを停止します。
	更新	ジョブ実行履歴一覧を最新のものに更新します。
	フィルタ	ジョブ実行履歴一覧のフィルタ処理を行います。

5.2.5 ジョブ[ジョブ詳細]ビュー

ジョブ[履歴]ビューで選択したジョブ、ジョブネット、ジョブユニットのジョブ階層と各々の実行状態を表示します。ジョブ、ジョブネット、ジョブユニットの再開、停止を行うことができます。

実行…	終了…	終了値	ジョブID	ジョブ名	ジョブユニ…	種別	ファシリテ…	スコープ	時刻
■ 終了	■ 正常	0	JobUnit001	ジョブユニット001	JobUnit001	● ジョブユニ…			
■ 終了	■ 正常	0	JobNet001	ジョブネット001	JobUnit001	● ジョブネット			
■ 終了	■ 正常	0	Job001	JobTest	JobUnit001	● ジョブ	HinemosAgent…	Hinemosエージェ…	
■ 終了	■ 正常	0	Job002	FileTransJobTest	JobUnit001	● ファイル転…			

図 5-5 ジョブ[ジョブ詳細]ビュー

表 5-5 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	開始	ジョブを開始します。
	停止	ジョブを停止します。

5.2.6 ジョブ[ノード詳細]ビュー

ジョブ[ジョブ詳細]ビューで選択したジョブが実行されるノードと各々の実行状態を表示します。ノード単位でジョブの再開、停止を行うことができます。

実行...	戻り値	ファシリティ...	ファシリティ名	開始・再実行日時	終了・中断日時	メッセージ
■ 終了	0	HinemosAgent...	Hinemosエージェ...	2013/03/12 16:24:57	2013/03/12 16:25:05	2013/03/12 16:25:01 ファイル「/tmp/123」...

図 5-6 ジョブ[ノード詳細]ビュー

表 5-6 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	開始	ジョブを開始します。
	停止	ジョブを停止します。

5.2.7 ジョブ[ファイル転送]ビュー

ファイル転送ジョブの実行履歴を表示します。

実行...	終了...	ファイル	転送ファシ...	転送ファシ...	受信ファシ...	受信ファシ...	開始・再実行日時	終了・中断日時
■ 終了	■ 正常	/tmp/123	HinemosAgent...	Hinemosエー...	HinemosAgent...	Hinemosエー...	2013/03/12 16:25:01	2013/03/12 16:25:03

図 5-7 ジョブ[ファイル転送]ビュー

5.3 ジョブの実行・開始・停止

5.3.1 ジョブの実行

ジョブ[一覧]ビューのジョブツリー、もしくはジョブ一覧テーブルから実行するジョブを選択し、『実行』ボタンをクリックします。

5.3.2 ジョブの停止

現在実行されているジョブ(ジョブネット、ジョブユニット)を停止することができます。停止したジョブに関しては、再実行することが可能です。

1. ジョブ[履歴]ビューのジョブ実行履歴一覧から、停止するジョブを選択します。
2. ジョブ[履歴]ビューの『停止』ボタンをクリックします。ジョブ[停止]ダイアログが開きます。

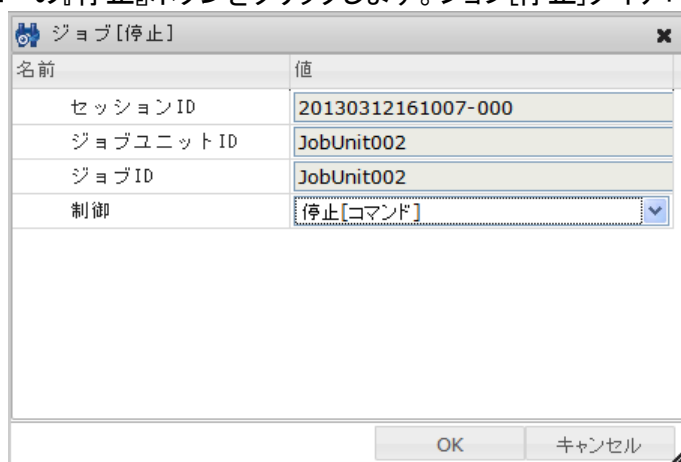


図 5-8 ジョブ[停止]ダイアログ

3. 制御で停止[コマンド]を選択します。
4. 『OK』ボタンをクリックします。ジョブ[停止]ダイアログが閉じられ、ジョブ作成時に設定した停止コマンドが実行され、即時にジョブを停止します。
注)ジョブネットに対する停止[コマンド]を実行した場合、配下の実行中のジョブ、ジョブネットに対して ジョブ[ジョブの作成・変更]ダイアログの“コマンド”タブで指定した停止コマンドが実行されます。
ジョブの停止を取り止める場合は、『キャンセル』ボタンをクリックします。

5.3.3 ジョブネットの中断

現在実行されているジョブネット(ジョブユニット)を中断することができます。中断したジョブネットは、再実行もしくは中断解除することができます。

ジョブネットの中断

1. ジョブ[履歴]ビューのジョブ実行履歴一覧から、中断するジョブネットを選択します。
2. ジョブ[履歴]ビューの『停止』ボタンをクリックします。ジョブ[停止]ダイアログが開きます。
3. 制御で停止[中断]を選択します。
4. 『OK』ボタンをクリックします。ジョブ[停止]ダイアログが閉じられ、現在実行中のジョブネットに含まれるジョブの終了を待ち、中断されます。

ジョブネットの中断を取り止める場合は、『キャンセル』ボタンをクリックします。

ジョブ詳細レベルでのジョブネットの中断

ジョブ[ジョブ詳細]ビューのジョブ実行履歴一覧から、中断するジョブネットを選択し『中断』ボタンをクリックします。以降の手順は、ジョブネットの中断と同じです。

5.3.4 ジョブネットの再開

現在中断中のジョブネット(ジョブユニット)を再開することができます。

ジョブネットの再開

1. ジョブ[履歴]ビューのジョブ実行履歴一覧から、再開する中断中のジョブネットを選択します。
2. ジョブ[履歴]ビューの『開始』ボタンをクリックします。ジョブ[開始]ダイアログが開きます。

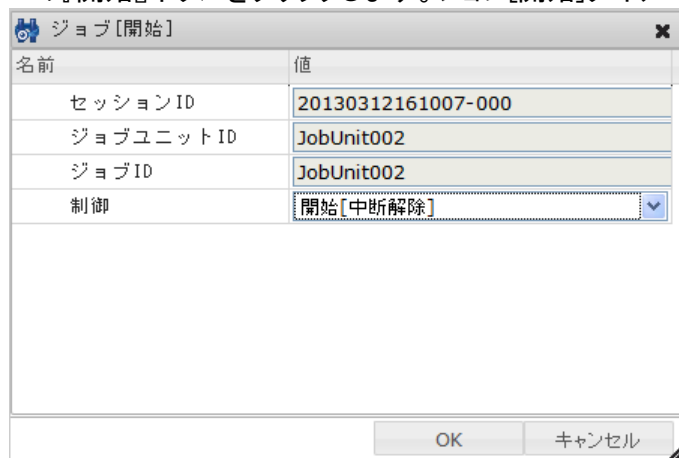


図 5-9 ジョブ[開始]ダイアログ

3. 制御で開始[中断解除]を選択します。
4. 『OK』ボタンをクリックします。ジョブ[開始]ダイアログが閉じられ、現在中断中のジョブネットに含まれるジョブが再開されます。

ジョブ詳細レベルでのジョブの再開

ジョブ[ジョブ詳細]ビューのジョブ実行履歴一覧から、再開する中断中のジョブネットを選択し『開始』ボタンをクリックします。以降の手順は、ジョブネットの再開と同じです。

5.4 ジョブ実行履歴の一覧表示

ジョブの履歴は、以下の3つのビューに表示レベルを変えて表示されます。

- ・ ジョブ[履歴]ビュー
スケジュールによる実行や監視連動による実行、もしくは手動実行されたジョブのレベルで表示されます。
- ・ ジョブ[ジョブ詳細]ビュー
ジョブ[履歴]ビューのジョブ実行履歴一覧で選択されているジョブの詳細が表示されます。ジョブを構成するジョブユニット、ジョブネット、ジョブといった要素のレベルで表示されます。現在どのジョブまで処理が進んでいるのかをチェックすることができます。
- ・ ジョブ[ノード詳細]ビュー
ジョブ[詳細]ビューのジョブ実行履歴一覧で選択されているジョブのノードレベルでの状態が表示されます。

ジョブの実行契機を判別するには

ジョブ[履歴]ビューの実行契機種別、実行契機情報に以下のような形で表示されます。

- ・ スケジュール実行の場合
実行契機種別: スケジュール
実行契機情報: スケジュール名(スケジュールID)
- ・ 監視連動実行の場合
実行契機種別: 監視連動
実行契機情報: 監視項目ID(プラグインID)
- ・ 手動実行の場合
実行契機種別: 手動実行
実行契機情報: 手動実行したHinemosのユーザ名

ジョブ履歴の表示を条件によって絞り込むには

ジョブ[履歴]ビューの『フィルタ』ボタンをクリックします。ジョブ[履歴フィルタ処理]ダイアログが開きますので、絞り込み条件を設定します。

絞り込み条件として設定しない項目は、空欄としてください。

図 5-10 ジョブ[履歴フィルタ処理]

5.4.1 監視画面更新周期・履歴の表示制限

ジョブ[履歴]画面の情報は一定周期でクライアントからマネージャの情報を取得することで定期的に更新されます。

1. 自動更新周期

ジョブ[履歴]ビューでは、10分周期で、ビューの内容が更新されます。なお、更新間隔は変更することができません。

2. イベント数の表示制限

ジョブ[履歴]ビューに関して、イベント数が制限されます。表示制限は500件であり、件数を変更することはできません。またイベント件数が表示イベント数を超えた場合でもメッセージは出力されません。

6 制限事項

HinemosWebクライアントでは一部の機能を除き参照系のみの機能提供となります。
HinemosクライアントとHinemosWebクライアントの機能比較は以下をご参照ください。

表6-1 Hinemos クライアントと HinemosWeb クライアントの機能比較

機能	クライアント	HinemosWeb クライアント
ログイン	○	○
ログアウト	○	○
画面レイアウト(パースペクティブ)の選択	○	○
画面レイアウト(パースペクティブ)の保存	○	×
アクセス[ユーザ]ビュー	○	×
ユーザの作成	○	×
パスワード変更	○	×
ユーザ設定情報の変更	○	×
ユーザの削除	○	×
リポジトリ[ノード]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
リポジトリ[プロパティ]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
リポジトリ[割当てスコープ]ビュー	○	○
リポジトリ[スコープ]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
リポジトリ[エージェント]ビュー	○	○
スコープツリーの作成	○	×
ノードの作成・変更・削除	○	×
スコープの作成・変更・削除	○	×
ノードの割当て	○	×
共通機能 - 通知設定 -	○	×
共通機能 - メールテンプレート -	○	×
共通機能 - 重要度判定 -	○	×
共通機能 - カレンダー設定 -	○	×
実行規則の設定	○	×
実行例外の設定	○	×
共通機能 - ログ転送 -	○	×
一括制御機能	○	×
インストール管理	○	×
起動と停止の管理	○	×
ユーザ管理	○	×
ファイルシステム管理	○	×
エージェント管理	○	×
一括制御の履歴表示	○	×
画面更新周期・履歴の表示制限の変更	○	×
マスタ編集	○	×
監視[スコープ]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供

監視[ステータス]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
監視[イベント]ビュー	○	○ ※参照機能、確認・未確認に変更、一括確認
スコープ監視	○	○ ※参照機能のみ提供
ステータス監視	○	○ ※ステータスの削除は不可
イベント監視	○	○ ※レポート出力は不可
syslog-ng 監視	○	×
Hinemos エージェント監視	○	×
HTTP 監視	○	×
Ping 監視	○	×
プロセス監視	○	×
SNMP 監視	○	×
SQL 監視	○	×
リソース監視	○	×
SNMPトラップ監視	○	×
アプリケーションログ監視	○	×
サービス・ポート監視	○	×
性能管理機能	○	×
ジョブ[一覧]ビュー	○	○ ※参照、ジョブの実行
ジョブ[スケジュール]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[履歴]ビュー	○	○ ※参照、ジョブの開始・終了
ジョブ[ジョブ詳細]ビュー	○	○ ※参照、ジョブの開始・終了
ジョブ[ノード詳細]ビュー	○	○ ※参照、ジョブの開始・終了
ジョブ[ファイル転送]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブの登録	○	×
ジョブネットの作成・変更	○	×
ジョブの作成・変更	○	×
ジョブの削除	○	×
ジョブの実行・開始・停止	○	×
ファイル転送ジョブの作成・変更	○	×
メンテナンス情報の登録・変更・削除	○	×

○ : 機能有り

× : 機能無し

7 変更履歴

版	変更日	変更内容
第1.0版	2012/11/01	初版発行
第1.1版	2013/04/01	HinemosWebクライアント 2.0.1 対応

HinemosWebクライアント ver2.0 ユーザマニュアル

作成者: NEC Corporation , NEC Soft, Ltd

この文書は

クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 2.1 日本
のもとでライセンスされています。

(<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/legalcode>)



Hinemosは(株)NTTデータの登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中には TM、R マークは表記しておりません。